

太平洋戦争開戦72年

再び「戦争する国」は 許しません

日本共産党

12月8日はアジア・太平洋戦争の開戦から72年です。しかし安倍政権は過去の侵略戦争を反省するどころか、日本を再び「戦争する国」にするための策動をすすめています。

日本版
NSC法

かつて「司令塔」となって戦争を指導した 「大本営」を復活させるもの

アメリカのNSCをまねて、首相、官房長官、外務、防衛の少数の閣僚だけが集まって外交や軍事の「司令塔」となる日本版NSCは、かつての戦争を指導した大本営や最高戦争指導会議を復活させようというものです。法律が成立し、「国家安全保障戦略」や「防衛計画の大綱」を密室で決めようとしています。



秘密
保護法

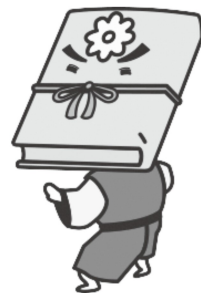
戦争中に国民の目、耳、口をふさいだ 「国防保安法」にそっくり



自民・公明が強行成立させた秘密保護法は、戦争中、国民の目、耳、口をふさいだ「国防保安法」にそっくりです。国防保安法は、「国防上外国に対し秘匿を要する外交、財政、その他」の情報に秘匿の網をかぶせました。対象になるのは全国民で、たまたま出あった移動中の軍隊の写真を撮ったとか、絵を描いたというだけで逮捕されたのです。

憲法を守り生かすために 秘密保護法は撤廃を

秘密保護法は憲法の国民主権、基本的人権、平和主義をことごとくじゅうりんするものです。憲法を守り生かすためにも秘密保護法は撤廃すべきです。



©カクサン部！
憲法担当部員・ポーケン師匠

国政事務所ニュース

2013年
12月号外

発行：日本共産党国会議員団愛知事務所
〒460-0007 名古屋市中区新栄3-12-27 電話052-261-3461
日本共産党の見解を紹介します。ご意見、ご感想をお寄せ下さい。